

2026（令和8）年度 栄養学部 社会人特別入試 小論文試験問題 出題の意図

図表資料を正確に読み取り、そこから得られる情報を基に、自身の考えを論理的に構成し文章として表現する力を確認することを目的としている。

本設問では、共食の頻度とウェルビーイング実感指数の関係を示すグラフを提示し、性別や年齢を問わず共食が心身や社会的側面に良い影響を与えている点を適切に読み取れているかを確認している。また、孤食が生活評価や社会的つながりの感じ方に与える影響についても、図表から正確に理解できているかを確認のポイントとしている。

さらに、これらの読み取りを踏まえ、現代社会において食事を通じてウェルビーイングを推進するために考えられる方策について、具体例を挙げながら論理的に述べられているかを評価の観点としている。家庭や地域、学校、職場など身近な生活場面と結び付けて考えられているか、また一つの対策に偏らず、複数の視点から提案がなされているかを確認している。

以上により、資料理解力や論理的思考力に加え、栄養学を社会や生活の中でどのように活かそうとしているかという姿勢を総合的に確認することを、作題の狙いとしている。